

# 小児神経学の進歩

日本小児神経学会卒後教育委員会・編

第21集

## 小児神経学における検査法

- 小児の末梢運動神経伝導速度と M 波……………満留 昭久  
誘発脳波（誘発電位）の基礎と小児神経疾患への応用……………安原 昭博  
発達検査法……………中瀬 惇  
MRI……………井上 佑一

## C.P.C. 1歳過ぎから精神運動発達退行を示した女児例

小児てんかんの治療……………岡 鏡次

C.C. 1 約6カ月前から痙攣，右上肢の巧緻性の低下，発語減少をきたした5歳男児例

C.C. 2 上気道炎様の症状の後，体のふらつき，眼球異常運動を呈した1歳3カ月の男児例

- 小児の脳血管障害……………永田 泉  
脳性麻痺の療育について—ボバース法に基づく理論と実際—……………梶浦 一郎  
リソゾーム病診断へのアプローチ……………乾 幸治  
神経伝達物質とレセプター—脳の機能と病態，中枢作用薬の作用機序を理解するための最良のツール—……………小川 紀雄

## ● 小児神経学 — 最近の展望 ●

- はじめに……………渡辺 一功 変性・代謝疾患……………桜木 宣男  
診断技術……………熊谷 公明 神経・筋疾患……………三池 輝久  
新生児神経学……………渡辺 一功 発達障害（発達診断，CPなど）……………長島 忠昭  
先天異常……………梶井 直文 小児脳神経外科……………大井 静雄  
炎症性疾患……………村田 良輔 精神発達遅滞，心身症，社会医学……………橋本 俊顕  
発作性疾患……………飯沼 一字 境界領域……………山野 恒一



診断と治療社